経営比較分析表(令和5年度決算)

岡山県真庭市 クリエイト菅谷

18.0

平均値

17 2

	業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
Ī	法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 1	非設置
ı	資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
ſ	該当数値なし	該当数値なし	582	98	

客単価(円)		指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
2, 585		利用料金制	63. 2
パリアフリー法の基準	適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi 設置
#		86. 7	有

➡市町村(左軸)

6 00%

5.00%

4.00%

3 00%

2.00%

1 00%

0.00%

R01

R02

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 収益等の状況について

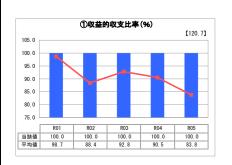
当該施設は指定管理者による管理運営をしており、広大な施設の管理を行いながらも、経費節減等の取り組みとして、民間経営のノつウを活かし、利用状況に合わせた効率的な勤務シフトによる人件、舞節減など、経営改善の取り組みに努めている。令和5年度は、SNS等によるプロモーションを積極的に実施し、利用料収入については令和4年度に大きく落ち込んだ分を回復させた。

今後は更なる顧客満足度向上策の実施、各種体験 事業や食堂・喫茶運営など充実した新たな体験プロ グラム等の実施など、施設全体の魅力向上を図る 共に、企業・団体及び市内観光資源、地域住民や地 域団体との連携を強化し、地域内外との交流強化を 図ることにより、自主事業を含めた収入値につな げ、経営状況の安定をめざすことが必要である。

2. 資産等の状況について

施設整備から30年以上が経過しており、経年劣化 が進んでいる。現在は、劣化箇所、利用者の安全確 保のための修繕を優先して改修しているが、今後は 施設全体の修繕増加が懸念されるため計画的な改修 を行う必要がある。

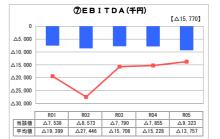
1. 収益等の状況











R03

R04 R05

3. 利用の状況

①施設と周辺地域の宿泊客数動向

──公営企業(右軸)

0 14%

0.12%

0.10%

0.08%

0.06%

0.04%

0.02%

0.00%

14.0 12.0 10.0 8.0 6.0 4 0 2 0 R01 R02 R03 R04 R05 当該値 13 1 9.2 14.0 9.0 12 0

6.4

⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

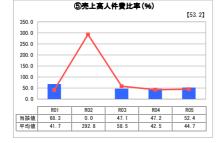
9.4

13.3

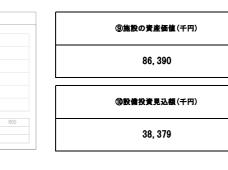
④定員稼働率(%)

[17.1]

10.0











3. 利用の状況について

①宿泊施設利用者数(宿泊者数) 4,320人 ②施設利用者数(日帰り者数) 794人 ③体験施設利用者数(テニス、ドーム) 2,511人 ④自主事業利用者数(魚、各体験、食堂)1,414人 6計 9,039人

令和5年度は、SNS等によるプロモーションを積極 的に実施し、利用者数は令和4年度に大きく落ち込んだ分を回復させた。

ただし、日帰り利用や、自主事業である体験施設 や食堂の利用は伸び悩んでおり、今後、利用者の増 加に向けた魅力づくり、客単価の向上等による経営 安定化に努める必要がある。

全体総括

指定管理施設として、宿泊・体験施設の利用については、SNS等によるブロモーションを積極的に実施し、利用者数、利用料収入とも令和4年度に大きく落ち込んだ分を回復させた。また、経費の縮減も実施し、経営状況を改善させた。

今後も、アウトドア需要や顧客ニーズの変化へ対応しながら、季節に応じたプロモーションなど積極的な情報発信による集客力向上、休験プログラムの充実など施設全体の魅力向上を図ると共に、市内観光賞変廉、地域住民や各種団体との連携を強化し、経営の安定化と改善を図る。

経営比較分析表(令和5年度決算)

岡山県真庭市 真庭市営津県高原荘

105.0

90.0

85. 0

当林楠

平均値

R01

97.8

R02

90.8

96.8

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	3, 177	90	

100.0

90.0

80.0

70.0

60.0

50.0

40.0

30.0

20.0

10.0 0.0

当該値

平均値

R01

97.9

R02

90 8

47. 8

[120.7]

00 S

102. 5

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
8, 430	利用料金制	50. 4
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	100.0	有

市町村(左軸)

6 00%

5.00%

4.00%

3 00%

2.00%

1.00%

0.00%

R01

R02

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
 - 類似旅粉平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄 1. 収益等の状況について

当該施設は指定管理者制度により運営している。 令和5年度は利用者数の減少等により、収益的収支 比率などの指標で悪化しており、他会計補助金比率 は類似団体と比較して依然として高く、一般会計か らの繰入金への依存度が高い状態が続いている。 令和4年度に策定した「真庭市津黒高原観光事業経 営戦略」に基づき計画的かつ実効性のある経営改善

に向けた取組を行っていき、利用者数の増加による 収入増につなげ、経営の安定を目指す。

2. 資産等の状況について

施設の老朽化が進んでおり、利用者の安全確保、₹ 便性向上のため、整備計画に基づき必要な改修等を 行っていく。

3. 利用の状況

→ 公営企業(右軸) 0,12%

0.10%

0.08%

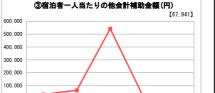
0.06%

0.04%

0.02%

0.00%

①施設と周辺地域の宿泊客数動向





④定員稼働率(%) [17.1] 25. 0 20.0 15.0 10.0 R01 R02 R03 R04 R05 当該値 17.0 8.0 10.5 13.1 9 9 17.2 平均値 5. 1 14. 6 18.6 19.8

①収益的収支比率(%)

R03

88 6

94.0

R04

01 /



1. 収益等の状況

②他会計補助金比率(%)

R03

88 1

27. 2

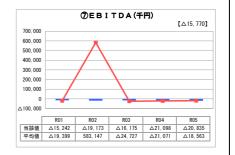
R04

01 /

[30.4]

90.8



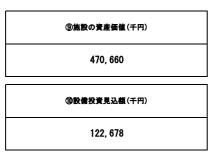


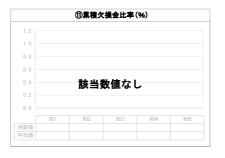
R03

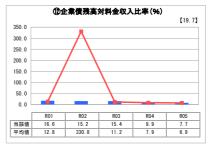
RO4 R05

2. 資産等の状況









3. 利用の状況について

①宿泊者数3,256人(前年比-1,058人) ②日帰入浴6,622人(前年比+912人) ③キャンプ2,911人(前年比-966人) 0人(前年比-2,739人) ⑤昼食他 2,986人 (前年比+814人)

合計 15,775人 (前年比-3,037人) 利用者数は、コロナ前の水準には戻っておらず、誘 客に向けたプランの策定が必要となっている。また スキー場については、指定管理者の事情により営業 休止となり、宿泊利用者にも影響を与えている。 キャンプの利用者数は、天候の影響により大きく変 動するため、今後の需要の把握に努めながら、安定 した利用が見込める教育旅行や体験ツアーなどの誘 客を引き続き積極的に行う必要がある。

津黒高原荘は、地域資源を活用した様々な取組が行 われている中和地域の中核施設としてなくてはなら ない存在となっている。

周辺の施設等と連携した教育旅行や体験ツアーなど をより一層実施することにより地域全体へ波及効果 を高め、経営改善を図る。

ただし、施設の老朽化が進んでおり、今後も計画的 かつ効率的な施設改修を行っていく必要がある。